令和３年度　No. ２

駒岡小学校だより　５月号

５月に向けて

校長　中山　正之

朝晩はまだ冷えるものの、日中は暖かく日差しが少しまぶしい季節になってきました。この調子で暖かさが増してくると、連休明けには子ども達の衣替えがすっかり終わっているかもしれません。季節の移り変わりが年々早まっていくように感じられます。

さて、今年も自粛が求められる５月になりそうですが、学校行事について少し見通しをお伝えいたします。まず、６月に予定されている４・５年生の宿泊体験学習ですが、どちらも実施時期を秋に変更したいと考えています。それに伴い、両行事の説明会も延期といたします。４・５年生の保護者の皆様には、追ってご案内を差し上げる予定です。また、月末に予定されている学校説明会と PTA 総会につきましては、集合開催が難しいため、今回も書面での開催とさせていただきます。ご承知おきいただきますようお願いいたします。今年度も状況によって、行事の移動が必要になると予想されます。本校ではこうした際に、メール配信やウェブサイト等を使用してできるだけ早く保護者の皆様に情報をお伝えするようにしています。中でもメール配信は、情報伝達の重要な手段として使用頻度が高いものです。４月にご登録をお願いし、テストメールの配信も実施していますので、確実に保護者の皆様のお手元に届くように、ご協力をお願いいたします。

ところで、駒岡小の卒業生のランドセルが、外国で活躍していることをご存知でしょうか。本校では、元 PTA 会長で横浜鶴見北ロータリークラブの上原良廣様のお声掛けにより、１０年以上にわたり国際協力 NGO ジョイセフの「思い出のランドセルギフト」活動に参加しています。この活動は、長く紛争の続くアフガニスタンで十分な教育を受けることができない子ども達に、日本の子どものランドセルを寄付するというものです。毎年３月、６年生児童にアフガニスタンの子ども達の現状と、ランドセルギフトの活動について上原様にお話をしていただき、活動の趣旨に賛同されるご家庭から、卒業後ランドセルを寄付していただいています。集まったランドセルは、横浜鶴見北ロータリークラブの協力でアフガニスタンへ送られます。これまでに駒岡小からは５００個を超えるランドセルがアフガニスタンに届けられ、今年も約６０個を送ることになっています。届いたランドセルは現地の子ども達に配られ、再び大切に使われているそうです。その様子は、現在４年生の使用する国語の教科書に「ランドセルは海をこえて」という教材として掲載されており、子ども達も読むことができます。またこのお話は出版もされていて、本が学校図書館にも置かれています。私も手に取ってみましたが、ランドセルを手にした現地の子ども達の本当にうれしそうな笑顔に心が温かくなり、また一方で、子どもを取り巻く世界の現状について深く考えさせられました。卒業生にとって、この活動に参加することは世界の一端を知り、自分にできることを考え、行動する貴重な機会になることと思います。今年の寄付の様子については、４月に発行された「タウンニュース鶴見区版」にも紹介されましたので、もし機会があればお手に取っていただければと思います。

入学式、始業式以来、子ども達は毎日元気に登校しています。毎朝校門では、とても気持ちの良いあいさつを聞くことができます。今後も子ども達が安心して健康的に生活できるように、感染対策をしっかりと行いながら教育活動を進めていきます。保護者の皆様のご支援やご協力も何卒よろしくお願いいたします。